KOYO CHALLENGE
TRIATHLON DUATHLON IN KAZO

JAPAN FIRE TRIATHLON

紅葉チャレンジ
トライアスロン・デュアスロンフェスティバル
in加須大会
第17回日本消防トライアスロン大会



Athlete's Guide

アスリートガイド

2026.10.25.
渡良瀬遊水地

レース速報は
こちら

最新版は大会ホームページで
ご確認ください
10月17日版

目次、変更・更新情報

KOYO CHALLENGE JAPAN FIRE TRIATHLON

目次

P１　目次、変更・更新情報
P２　安心・安全な大会のために、 気象情報
P３　大会概要・競技役員
P４　競技内容
P５　制限時間
P６　参加者情報、表彰
P７　公式スケジュール
P８　コースMAP
P１１　支給物、持参品、情報発信
P１２　レースナンバー、スイムキャップ
本人確認
メンバー変更・メンバー不足
部門変更
P１３　バイク試走、ラン試走、試泳
レースナンバーの付け方
タトゥー
P１４　競技規則
1,適用する競技規則
2,審判員
3,大会側からの競技内容の変更・中止、
及び中断
4,選手自身の競技中止・棄権(リタイア)
5,招集
6、記録、計測
7、計測区間
8、選手通過情報
P１５　9、ウェア、ウェットスーツ
10、携行禁止品
11,スイム
P１６　12、トランジション
P１９　13、バイク
P２０　14、第１ラン、第２ラン
15、周回チェック
P２１　16、エイドステーション(給水所)
17、フィニッシュ
18、ペナルティ
19、緊急時の対応
P２２　リレー
P２３　リタイヤ、もしくはタイムオーバーした場合
WEB競技説明会、ルール等理解テスト
その他
P２７　アクセス

変更・更新情報

変更日	ページ	項目	変更内容
10/12	P8，10	スイムコース	水温、水位の状況により、周回数、レイアウトが変更になる場合があります。
10/17	P12	スイムキャップ	部門別の色名を入れてあります。

安心・安全な大会のために

KOYO CHALLENGE JAPAN FIRE TRIATHLON

安全・安心な大会を、皆さんとともに創りあげましょう！

健康について

★コンディションを整えよう！
★事故は初心者とは限りません。
★十分なウォーミングアップで、急激に心拍数が増加しないようにしましょう。



睡眠不足　過労　水分不足　飲酒

バイクに関する注意点

★移動中も ヘルメット着用を！



★交通ルール マナーを守ろう！



★事前に整備を！



メカニックは有料！

当日、トランジション入場時、バイク、着用状態のヘルメット、使用するボトルのチェックあり



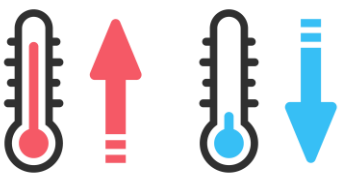
☆自転車走行について
・練習時や移動時など、**ルール、マナー違反**によるクレーム、事故が増えています。
ご自身の走行を見直しましょう。

☆会場の使用について
・会場内は**貸し切りではありません。**充分ご注意ください。（P19参照）
・一般の方のご協力で開催できていることをご理解の上、ご参加ください。

ドラフティングはルール違反です。しっかり意識してレースをしましょう！(P20参照)

気象に関する注意点

☆**気温の変化が大きい**季節です。
・かなりの暑さを感じる年もあれば、寒い年もあります。気象情報を入手し、万全の準備をしてお越しください。



<10月25日　茨城県古河市気象情報>

項目	単位	最近5年平均	最近5年最大値	平年値	備考
最高気温	℃	19.3	22.1	20.2	
最低気温	℃	11.6	7.0	11.0	過去5年は最低値
平均風速	m/s	1.7	2.3	–	
降水量	mm	1.0	4.0	4.7	

昨年大会　2025年10月19日情報
9：00　気温　22.4℃／水温　20.9℃

大会概要・競技役員

大会概要

大会名称	紅葉チャレンジトライアスロン・デュアスロンフェスティバルin加須大会 第17回消防トライアスロン大会
開催日程	2026年10月25日（日）
主　催	紅葉チャレンジトライアスロン・デュアスロンフェスティバルin加須大会実行委員会
主　管	埼玉県トライアスロン連合
後　援	加須市、加須市教育委員会、加須市スポーツ協会、（一財）全国消防協会 （公社）トライアスロンジャパン
協　賛	日東紅茶ほか
大会事務局	〒358-0023 埼玉県入間市扇台5-4-21　（株）ジェイプロ内 紅葉チャレンジトライアスロン・デュアスロンフェスティバル大会事務局 TEL：090-1764-5366 E-mail　nishizawa@jpro1.jp

参加資格	●紅葉チャレンジ ・トライアスロンA,B,R:18歳以上（高校生除く） ・トライアスロンC:高校生以上 ・デュアスロンA:18歳以上（高校生除く） ・デュアスロンB:高校生以上 ・デュアスロンC：中学生以上 ・デュアスロンＤ：小学4-6年生 ・デュアスロンＥ：小学1-3年生 ●消防大会 ・消防関係者

競技概要

競技役員	実行委員長	矢野 龍太郎	埼玉県トライアスロン連合
	技術代表(ＴＤ)	今 雅利	埼玉県トライアスロン連合
	審判長(ＨＲ)	市川 硬一	埼玉県トライアスロン連合
	審議委員	矢野 龍太郎	埼玉県トライアスロン連合（競技団体理事）
	審議委員	西沢 潤	ジェイプロ（主催者）
	審議委員	今 雅利	埼玉県トライアスロン連合（技術代表）

競技内容

競技内容

競技	部門	距離		対象
トライアスロン	Aタイプ （ミドル）	S	2km	紅葉チャレンジ：18歳以上 （高校生除く） 消防大会：消防関係者
		B	64.8km	
		R	15km	
	Bタイプ （スタンダード）	S	1.5km	紅葉チャレンジ：18歳以上 （高校生除く） 消防大会：消防関係者
		B	43.2km	
		R	10km	
	Rタイプ （リレー）	S	1.5km	紅葉チャレンジ：18歳以上 （高校生除く） 消防大会：消防関係者
		B	43.2km	
		R	10km	
	Cタイプ （スプリント）	S	0.5km	紅葉チャレンジ：18歳以上 （高校生除く） 消防大会：消防関係者
		B	21.6km	
		R	2.5km	
デュアスロン	Aタイプ （ミドル）	1R	7.5km	紅葉チャレンジ：18歳以上 （高校生除く）
		B	64.8km	
		R	15km	
	Bタイプ （スタンダード）	1R	5km	紅葉チャレンジ：高校生以上
		B	43.2km	
		R	10km	
	Cタイプ （スプリント）	1R	2.5km	紅葉チャレンジ：中学生以上
		B	21.6km	
		R	2.5km	
キッズ デュアスロン	Dタイプ	1R	1km	小学4-6年生
		B	10.8km	
		R	2km	
	Eタイプ	1R	0.5km	小学1-3年生
		B	5.4km	
		R	1km	

制限時間

＊制限時間は、スタートからの累計
＊最終周回制限を超えて、新しい周回には入れません。

◆トライアスロン

		スタート	スイム		バイク		ラン	
A	距離/周回	9:45	2km	4周回	64.8km	9周回	15km	6周回
	制限時間		1時間15分		3時間45分		5時間45分	
	最終周回制限		10:45		13:15		15:10	
	関門時刻		11:00		13:30		15:30	
B	距離/周回	11:45	1.5km	3周回	43.2km	6周回	10km	4周回
	制限時間		55分		2時間45分		3時間45分	
	最終周回制限		12:25		14:15		15:10	
	関門時刻		12:40		14:30		15:30	
C	距離/周回	11:45	0.5km	1周回	21.6km	3周回	2.5km	1周回
	制限時間		30分		2時間45分		3時間45分	
	最終周回制限				14:15			
	関門時刻		12:15		14:30		15:30	

◆デュアスロン

		スタート	第1ラン		バイク		第2ラン	
A	距離/周回	9:45	7.5km	3周回	64.8km	9周回	15km	6周回
	制限時間		1時間15分		3時間45分		5時間45分	
	最終周回制限		10:45		13:15		15:10	
	関門時刻		11:00		13:30		15:30	
B	距離/周回	11:45	5km	2周回	43.2km	6周回	10km	4周回
	制限時間		55分		2時間45分		3時間45分	
	最終周回制限		12:25		14:15		15:10	
	関門時刻		12:40		14:30		15:30	
C	距離/周回	11:45	2.5km	1周回	21.6km	3周回	2.5km	1周回
	制限時間		55分		2時間45分		3時間45分	
	最終周回制限				14:15			
	関門時刻		12:40		14:30		15:30	
D	距離/周回	8:50	1.0km	2周回	10.8km	2周回	2.0km	2周回
	制限時間		健康上、運営上支障がない範囲内					
E	距離/周回	8:30	0.5km	1周回	5.4km	1周回	1.0km	1周回
	制限時間		健康上、運営上支障がない範囲内					

参加者情報・表彰・気象情報

競技概要

10月17日現在

	タイプ	トライアスロン							デュアスロン				総合計
		紅葉 男子	消防 男子	計	紅葉 女子	消防 女子	計	合計	学年	男子	女子	合計	
エントリー数	A	52	9	61	4	0	4	65		12	5	17	82
	B	64	1	65	3	0	3	68		42	6	48	116
	R	4組						4組					4組
	C	32	2	34	6	0	6	40	中学生除く	30	7	37	94
									中学生	15	2	17	
	D								小6	4	4	8	25
									小5	7	1	8	
									小4	7	2	9	
	E								小3	11	4	15	23
									小2	4	2	6	
									小1	2	0	2	
	組数							177				167	344
	人数							185人				167	352人

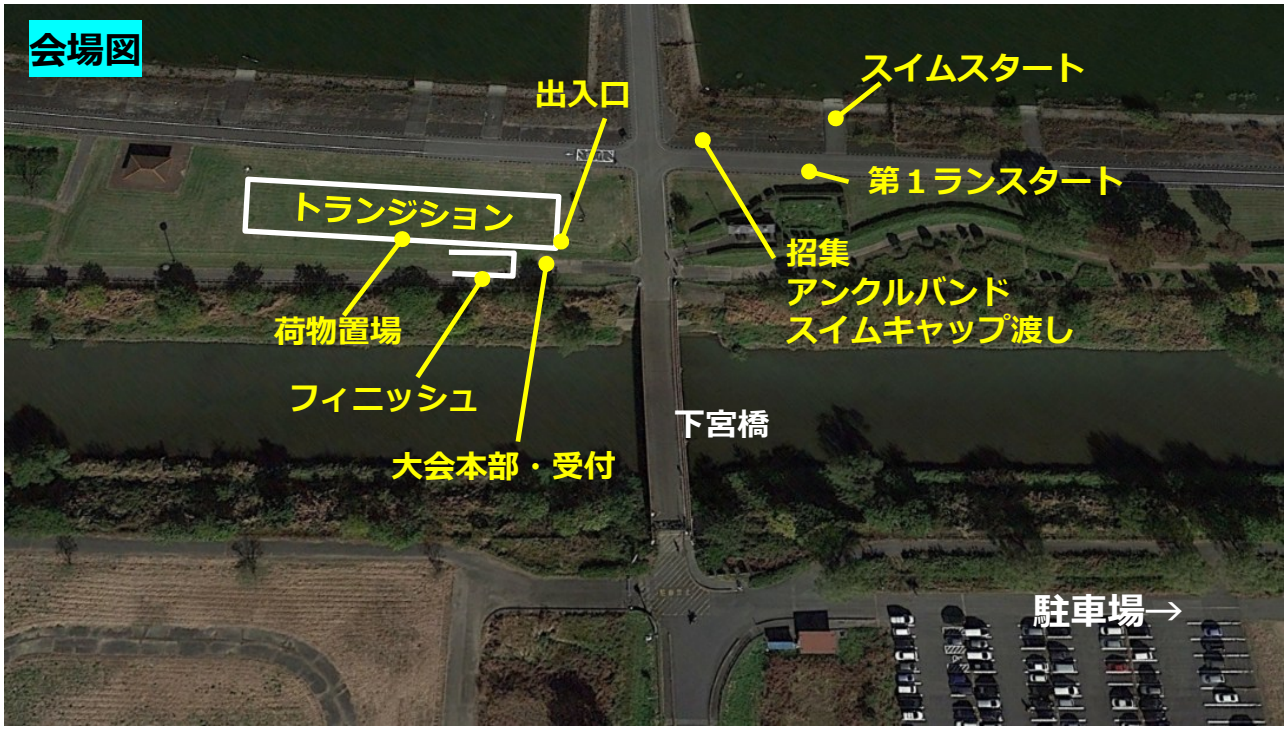
	大会	タイプ	区分	トライアスロン		デュアスロン	
表彰	紅葉チャレンジ	A	総合	男子・女子	1－3位	男子・女子	1－3位
		B	総合	男子・女子	1－3位	男子・女子	1－3位
		R	総合		1－3位		
		C	中学生除く	男子・女子	1－3位	男子・女子	1－3位
			中学生			男子・女子	1－3位
		D	学年別			男子・女子	1－3位
		E	学年別			男子・女子	1－3位
	消防	A	総合		1－3位		
		B	総合		1－3位		
		C	総合		1－3位		

公式スケジュール

Ｐ２３：競技説明動画をご確認の上、10/18(日)までにルール等理解テストにご回答ください。

項目	A	B/R	C	D	E
駐車場・受付・試走開始	7:00	7:00	7:00	7:00	7:00
トランジションオープン	7:00	7:00	7:00	7:00	7:00
試走（ランのみ）終了	8:00	8:00	8:00	8:00	8:00
受付終了	8:30	10:30	10:30	7:30	7:30
部門変更締切 ※1	8:45	10:45	10:45		
トランジションクローズ	9:15	11:15	11:15	8:20	8:00
招集・アンクルバンド(スイムキャップ)配布（トライアスロン）試泳	9:25	11:25	11:25	8:40	8:20
スタート	9:45	11:45	11:45	8:50	8:30
スイム/1ラン最終周回制限 ※2	10:45	12:25			
スイム/1ラン制限時刻	11:00	12:40	12:15		
バイク最終周回制限 ※2	13:15	14:15	14:15		
バイク制限時刻	13:30	14:30	14:30※３		
ラン最終周回制限 ※2	15:10	15:10			
ラン制限時刻	15:30	15:30	15:30※３		
競技終了予定	15:30	15:30	15:30	9:35	9:10
バイクピックアップ終了	16:00	16:00	16:00	10:30	10:30
撤収完了	17:00	17:00	17:00	17:00	17:00
表彰式予定	15:30	15:30	14:00	10:30	10:30

※1：部門変更については、Ｐ１２をご参照ください。
※2：各種目の最終周回に入る締切時刻です。この時刻を過ぎて新しい周回には入れません。
※3：Ｃタイプの制限時間は、Ｂタイプと同じですが、バイクのピックアップはＣタイプ競技終了後、30分以内をめどに行ってください。
＊前日預託はありません。当日ご持参ください。
＊バイクピックアップは競技進行状況により、変動する場合があります。
ピックアップ時には、必ずレースナンバーをご持参ください。



コースMAP

A,B,R,C　タイプ



Aタイプ	種目	距離	周回数
	スイム	2.0km	0.5kmx4周
	第１ラン	7.5km	2.5kmx3周
	バイク	64.8km	7.2kmx9周
	第２ラン	15.0km	2.5kmx6周

B/Rタイプ	種目	距離	周回数
	スイム	1.5km	0.5kmx3周
	第１ラン	5.0km	2.5kmx2周
	バイク	43.2km	7.2kmx6周
	第２ラン	10km	2.5kmx4周

Cタイプ	種目	距離	周回数
	スイム	0.5km	0.5kmx１周
	第１ラン	2.5km	2.5kmx１周
	バイク	21.6km	7.2kmx3周
	第２ラン	2.5km	2.5kmx1周



Aタイプ（一般	2.5km5周+2.4km+0.1km=15km
Bタイプ（一般）	2.5km3周+2.4km+0.1km=10km
Cタイプ（中学生以上）	2.4km１周+0.1km=2.5km

コースMAP

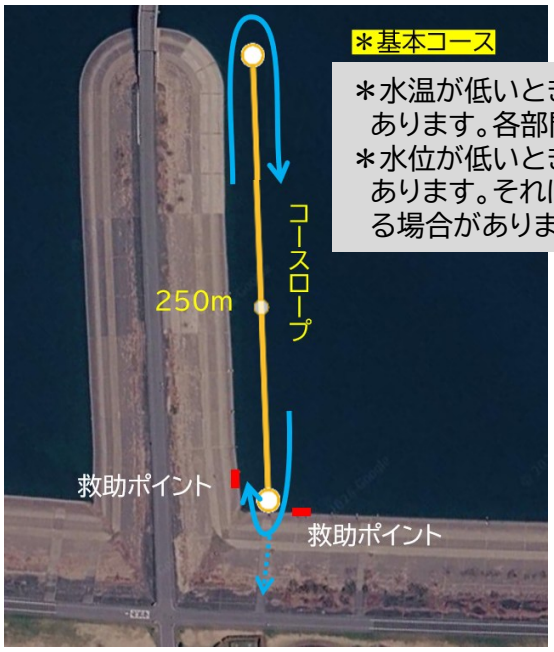
D,E　タイプ



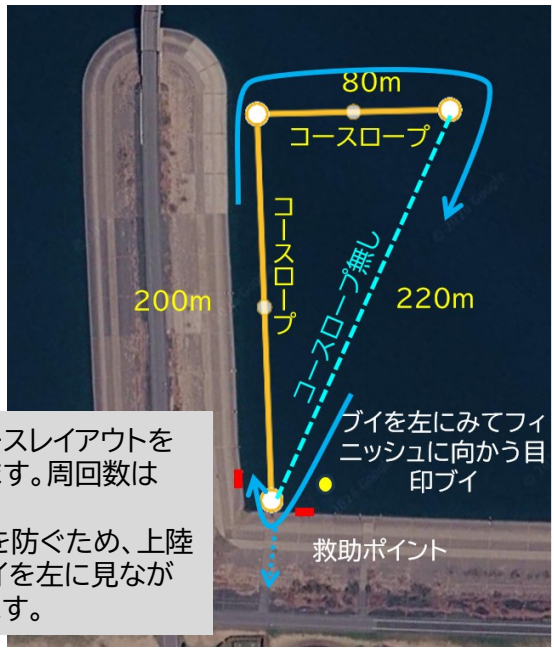


コースMAP

スイムコース　状況により変更　◆状況わかり次第、HPで発表します。

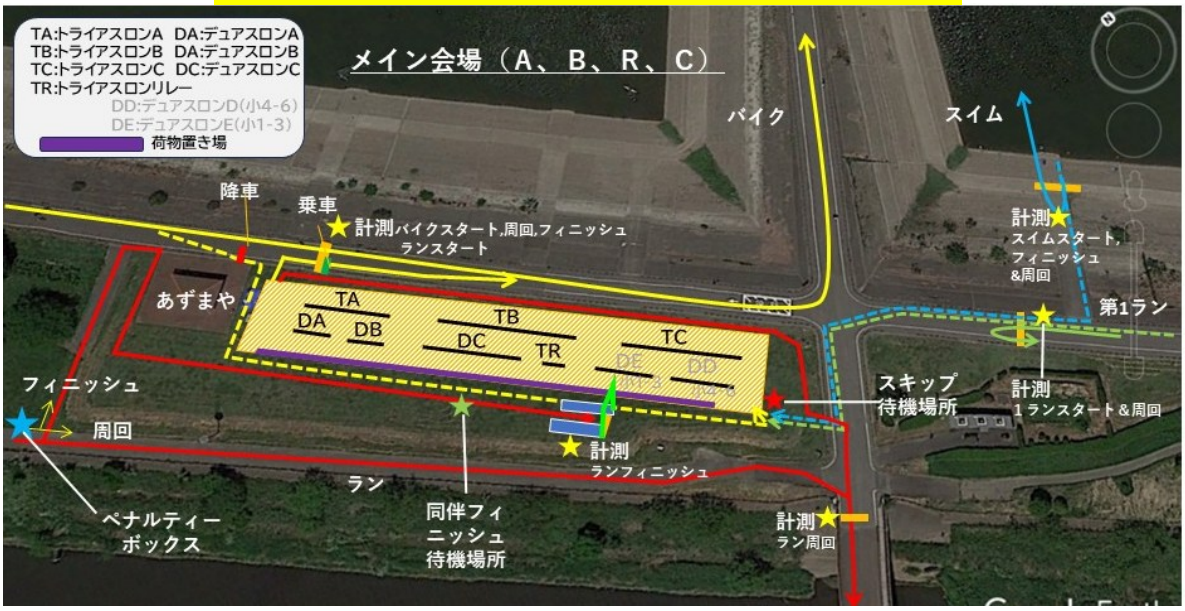


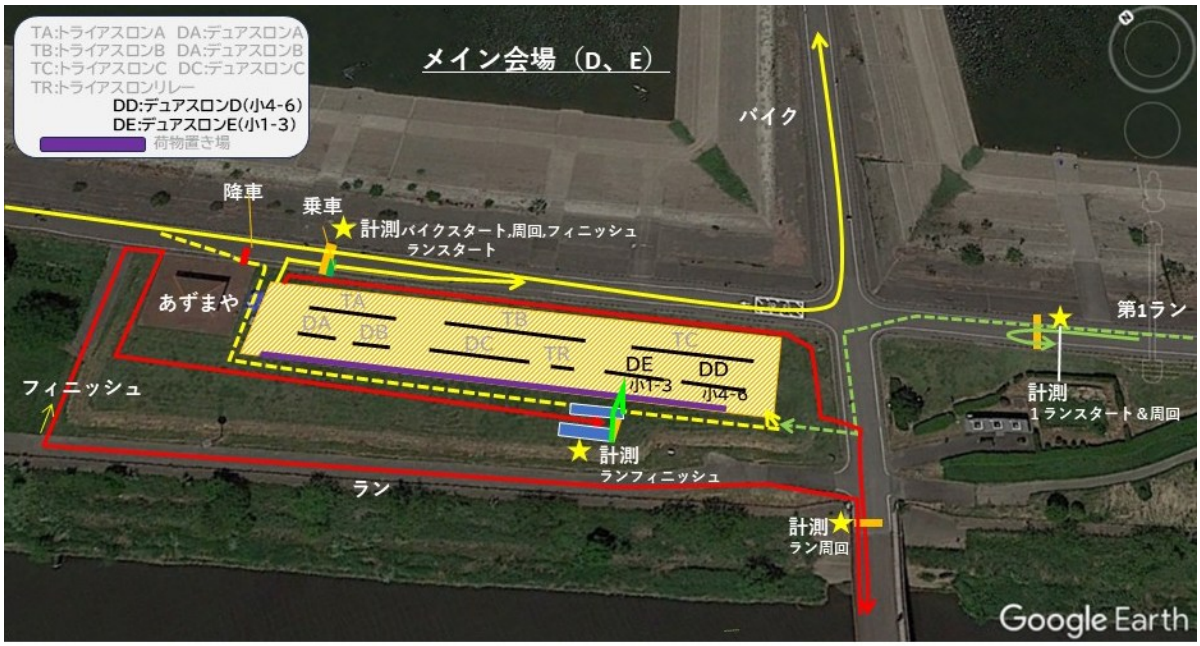
＊水温が低いとき、周回を短縮する場合があります。各部門の距離が変わります。
＊水位が低いとき、周回数を増やす場合があります。それにより、各部門距離が変わる場合があります。



＊水位が低いとき、コースレイアウトを変更する場合があります。周回数は変わりません。
＊早めに上陸することを防ぐため、上陸前にブイを設置し、ブイを左に見ながら上陸地点を目指します。

トランジション　レイアウトは、修正される場合があります。





大会に向けた準備

支給物、持参品、情報発信

※事前送付物はありません。ホームページ、配信メールをご確認ください。
持ち物には名前を書いて、持ち物チェックをしましょう。
（◎必須　● 1 次締切までの応募者または対象部門参加者　○あると便利　△予約者）

	☑	事前配信内容(ホームページでご確認ください)	
◎		アスリートガイド(本紙)	プリントアウトするか、タブレット、スマホ等で確認できるようにしましょう。
◎		競技説明動画視聴	視聴していただき、以下の理解テストをご確認ください。
◎		ルール理解テスト	WEBで回答し、自己採点してください。HPに掲載します。申込時のメールアドレスにもお送りします。
○		大会プログラム	大会HPからご覧いただけます。
※ホームページ、スマートフォンの環境が整わない方は、大会事務局にお問い合わせください。			
		◆受付でお渡しするもの	
◎		レースナンバー	1枚／裏面の個人情報欄をご記入ください。
◎		ヘルメット・バイク ステッカー	一体型1枚（大/バイク右側面、小/ヘルメット：正面、右側面）
△		ナンバーベルト引換券	事前予約された方にお渡しします。受付でお渡しします。
◎		各種ご案内	写真販売案内等
○		参加賞	バッグ、日東紅茶
		◆持参品についての注意	
◎		本人と確認できるもの	運転免許証等、写真付きのもの。本人確認ができない場合は参加できません。
◎		ウェットスーツ	ネオプレン（ゴム）製で、体に合ったサイズのもの
◎		スイムウェア	トライスーツでも可
◎		ゴーグル	視力が悪い方は度付きゴーグル推奨
○		タオル	トランジションに置く場合は、風で飛ばないようにしましょう。
◎		バイク	事前に整備を済ませて会場に持ち込んでください。レンタルはありません。
◎		バイクウェア	トライスーツやＴシャツでも可
◎		ヘルメット	自転車用
○		サングラス	
○		バイクシューズ	ランシューズ兼用でかまいません。
◎		ランウェア	トライスーツやＴシャツでも可。裸では出場できません。
◎		シューズ	履きなれたものがよい。裸足では出場できません。
○		帽子	熱中症対策に効果的です。
		◆スタート前にお渡しするもの	
◎		スイムキャップ	1枚。スイムエリア入場時にお渡しします。
◎		計測用アンクルバンド	スイムエリア入場時にお渡しします。(フィニッシュ後、リタイヤ時要返却)
		その他	
◎		保険証	

大会に向けた準備

レースナンバー、スイムキャップ

		トライアスロン		デュアスロン
		レースナンバー	スイムキャップ	レースナンバー
A	紅葉	1001-	赤	4001-
	消防	1901-		
B	紅葉	2001-	緑	5001-
	消防	2901-		
R	紅葉	8001-		
C	一般	3001-	黄	6001-
	消防	3901-		
	中学生			7001-

	キッズデュアスロン	
	学年	レースナンバー
D	小学6年生	601-
	小学5年生	501-
	小学4年生	401-
E	小学3年生	301-
	小学2年生	201-
	小学1年生	101-

本人確認

1)受付では、顔写真付きの身分証明書をご持参ください。確認をする場合があります。
確認できない場合、出場することができないこととなります。
他の大会で、替え玉出場があり、1年間の資格停止となりました。
公式なメンバー変更経ずに、「替え玉出場」した場合は、、万一の際に対応ができない場合があります。
保険適用もできません。命に関わる重大なルール違反ですので絶対におやめください。

メンバー変更、メンバー不足

1)「公式代走」によるメンバー変更は以下の場合のみ認めます。
・大会7日前までに、大会事務局にメールで連絡があった場合。
（メールに、欠場者レースナンバー、欠場者氏名、公式代走者氏名、ふりがな、性別、年齢、住所、電話番号、競技団体登録者は登録番号、緊急連絡先を明記のこと）
・手数料として1,000円/人を、当日大会受付にお支払いください。
2)リレーでメンバーに欠員（公式代走不在）の場合、以下の内容に従い出場することができます。
3)スタート後、リタイヤ等でメンバー不足となった場合は、競技規則Ｐ２２「リレー」をご参照ください。

エントリー時	2人でも可（1名は不可）。
欠員で2名になった	2人で3種目を行うことができれば公式記録。
欠員で1名になった	1人で3種目続けることができるが、参考記録。

部門変更

1)以下の条件で、部門を変更することができます。
・対象部門：A,B,R,C
・変更可能内容：トライアスロンからデュアスロンへの変更をすることができます。（スタート1時間前までに受付で申告）デュアスロンからトライアスロンへの変更はできません。
※水温は例年20℃程度で、20℃を下回ることもあります。そのあたりも考慮して判断してください。
・距離を短くする変更はできますが、長くする変更はできません。
（例：A→Bは可、C→Bは不可）
・参加費の返金はありません。
・R部門のデュアスロン変更、距離変更は、順位付けをしません。（表彰対象ではなくなります。）

大会に向けた準備

バイク試走

1)大会当日、バイクの試走はできません。安全対策ができませんので、お守りください。
2)バイク、ランについて、大会当日以外の試走はできますが、各自の責任において試走してください。大会当日レース以外での怪我等については、保険の適用はできませんのでご了承ください。
2)バイク乗車時は、必ずヘルメットを着用してください。
3)試走コースは大人と子供（キッズ）が混在します。十分ご注意ください。

★過去のレース以外での事故例
・当日試走中、縁石に乗り上げ落車
・当日試走中、Uターンした子供に大人が接触

ラン試走

1)大会当日は、大人と子供（キッズ）が混在します。十分ご注意ください。

試泳

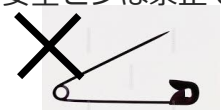
1)大会指定時間、指定場所以外で試泳はできません。
2)大会当日、大会指定時間、指定場所においてのみ試泳を義務とします。
3)指定のスイムキャップ、ウェットスーツ着用義務とします。

レースナンバーの付け方

1)ボディーナンバー
・ボディーへのナンバリングは行いません。
2)各種レースナンバーの付け方について
◆レースナンバー



安全ピンは禁止です



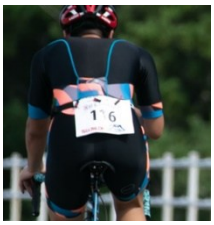
◆バイクシール
(大1枚：両面)



◆ヘルメットシール
(小２枚：正面・右側面)

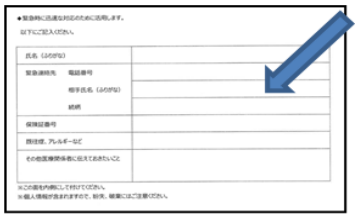


「バイクの時は後ろ」「ランの時は前」から見えるようにしてください。





↑↓ナンバーベルトをご用意ください。(当日販売あり)



裏面に、緊急情報を記入

もしものときにいち早く情報が入手できるよう、ご協力ください。
＊個人情報です。紛失、脱落にご注意ください。

・素足で走るトランジションでの怪我防止、またバイクのパンク防止のため、安全ピンの利用は禁止です。
・ナンバーベルトを用意できない方は、受付でご申告ください。ゴム紐をお渡しします。

3)レースナンバーのルール等
①トランジションエリア内で、ウェアとレースナンバーを整えてからスタートしてください。
②ウェアやレースナンバーがめくれあがったまま競技したり、変形させることは禁止です。競技をとめて直していただく場合があります。
③トランジションエリアの出入りにも必要です。バイク撤収時にはレースナンバーと持ち出す荷物の照合を行いますので、必ずご持参ください。

タトゥー

1)原則として参加に問題はありませんが、他者に威圧感を与える、レースナンバーがわかりにくい等の場合は、テープで覆う等の措置をお願いする場合があります。

競技規則

1、適用する競技規則

1)トライアスロンジャパン(TRIJ)競技規則に準じ、一部ローカルルールを適用します。
※TRIJ競技規則はTRIJホームページ（QRコード）をご参照ください。
https://www.jtu.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2026/05/Triathlon_Japan_Competition_Rules_202605.pdf



2、審判員

1)テクニカルオフィシャル（ＴＯ）として表記します。右写真のようなウェアを着用しています。

3、大会側からの競技内容の変更・中止、及び中断

1)気象状況等により、大会開催が危険と判断される場合は、大会当日7：00に受付付近にてコース・距離等の変更、または中止を発表します。(状況により遅れる場合があります。)
2)雷等で危険な状況が発生した場合は、競技を中断する場合があります。その後、再スタートや中止の判断を決定します。
3) 低水温の場合など、スイムの距離の変更やスイム中止でデュアスロンに変更する場合があります。
4)天候の急変等で、レース中に中断や中止の判断をした場合は、審判団、主催者で協議の上、表彰対象の有無等を決定いたします。
5)天候等により中止になった場合でも、参加費の返金はいたしません。
6）中止の場合、オプションのナンバーベルトは、受付でお渡しします。

4、選手自身の競技中止・棄権(リタイア)

1)大会スタッフは、選手が過度の疲労、競技力不足又は事故等により競技の続行に支障があると判断した場合、選手に対し、競技の中止を指示することができます。
2)大会スタッフに競技の中止を指示された場合、これに従わなければなりません。
3)選手は、競技続行に不安があると感じた場合、自らの意思で競技を棄権するものとします。
4)競技を棄権した場合、大会本部・審判にその旨を必ず申告して、指示に従ってください。
5)大会スタッフは、体調不良、飲酒状態と判断した場合、出場を取りやめさせる権限を持ちます。
(初心者に限らず、死亡事故のリスクが「確実に」高まります。特に前日の過ごし方にご配慮ください。)

5、招集

1)招集時刻に間に合うようにスタート地点に集合してください。いない場合失格となる場合があります。

6、記録、計測



1)計測用アンクルバンド配布（スタート人数チェック）
①スイム会場入口で、自分のレースナンバー、名前を確認してピックアップしてください。
②どちらかの足首につけ、競技終了まで外さないでください。
脱落防止のため、一緒にお渡しする輪ゴムをアンクルバンドの上から巻いてください。
2）アンクルバンドを受け取り、スタート地点に向かったあとは、戻ることはできません。スタート人数チェックは、計時だけでなく、安全管理上極めて重要なチェックです。
3)リレーは、スイム担当者が受け取り、そのアンクルバンドをバイク、ランの担当者に受け継いでください。

7、計測区間

・スイム・第1ラン：スタート～トランジション入口
・バ　イ　ク　　：トランジション入口～バイク終了後トランジション出口
・ラ　ン・第2ラン：バイク終了後トランジション出口～フィニッシュ

8、選手通過情報

1)選手の通過情報、結果はこちらからご覧いただけます。
システムウェイ
https://systemway.jp/26koyo_challenge

9、ウェア、ウェットスーツ

＜1＞レースウェア

1)バイク、ランにおいて、上半身裸で競技すると失格となります。

2)前にファスナーがないウェアを推奨しますが、ファスナーがついている場合は、必ずファスナーを上端まで上げて競技してください。開けている場合は、注意の上、ペナルティの対象になる場合があります。

＜2＞ウェットスーツ

1)ウェットスーツ着用は義務です。
ウェットスーツは、トライアスロン用のネオプレン(合成ゴム)で胴体が覆われているものに限ります。

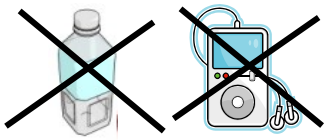
2)ラッシュガード、スイムスキン等では出場できません。

3)体形に合わないウェットスーツは事故の要因になる場合があります。ご注意ください。

10、携行禁止品

1)各種目において、以下のものは携行できません。

・音楽等のプレーヤー
・通信機器(バイクでスマートフォンをサイクルコンピューターとして使用する場合は、バイクに固定して外さないこと)
・ガラス製品
・ペットボトル（ランでの携行はできますが、エイドステーションのゴミ箱以外で廃棄することはできません。）
・カメラ



11、スイム

＜1＞用具

1)受付時にお渡しする指定のスイムキャップを着用してください。

2)ウェットスーツ着用は義務です。

3)アンクルバンドを試泳前にどちらかの足首に着けてください。

＜2＞スタート方法

1)湖岸からのスタートです。

＜3＞スキップスタート（種目を回避して次の種目に移る制度）、部門変更

1)スイムにおいてのみ、以下の条件で部門変更を認めます。
・受付後、スイム会場の確認をしてから変更が、受付でできます。
・スタート1時間前までに申告が必要です。
トライアスロンからデュアスロンへの部門変更は、一定の条件の下できます。正式記録となります。
詳しくはＰ12の部門変更をご覧ください。

2)部門変更締切後、スキップができます。
・招集時刻、及びスイムスタート1周目終了時、スイム招集場所での申告で、スキップを受け付けます。ただし、Ｃタイプは1周回のため、招集時刻の申告が締切となります。距離変更があった場合は、周回数が変わる場合がありますので、ご注意ください。
・スイム2周目に入ってからの申告はできません。競技の継続はできずDNF（非完走）となります。
・救助された場合、スキップはできません。（ＤＮＦ）
・スキップスタートして完走しても、記録は参考記録となります。

＜4＞競技中

1)スタート前に、スタート地点、折り返し点、周回方法を必ずご確認ください。

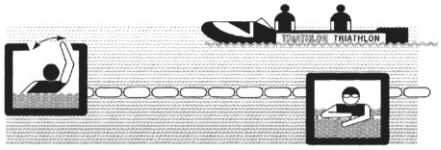
2)大会当日の試泳は、義務とします。スタッフの指示に従ってください。

3)ブイの外を回ってください。

4)ブイやコースロープ等につかまってもかまいません。ただし、それを伝って進むことは禁止です。

5)泳ぎがおかしい(方向が定まらない等)選手がいた場合、レスキューを呼んで知らせてください。
また、緊急時はご自身に余裕があれば、安全を確保した上で救助をお手伝いいただければ幸いです。

6)スイム競技を途中棄権する場合、片手をあげてスタッフに「リタイア」の意思表示をしてください。(右図)
救助された選手は、原則として競技を再開することはできません。



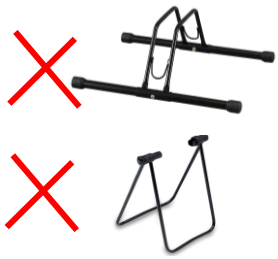



<5> レスチューブ、スイムブイの運用ルール
1)本大会では、「レスチューブ」「スイムブイ」の装着ができます。
2) 使用した(膨張させた)場合も、競技は継続でき、記録も公式記録（順位付けあり）となります。
ただし、リザルトにはレスチューブ使用のような表記が備考として挿入されます。
※注意：他大会の出場条件獲得のために本大会に参加された場合、このローカルルールが認められるか否かは出場予定大会の判断となりますので、事前にご確認ください。

<6>スイム中止の場合の対応
1)波高、水温等により、スイム中止とする場合があります。
2)スイムのみ中止の場合、デュアスロンに変更します。
3)アンクルバンド受け取り場所は、スイム開催時と同じです。
4)集合は、アンクルバンド受け取り場所となります。アナウンスの指示に従ってください。

<7>その他
1)めがね置き場をスイムフィニッシュ地点に設置しますが、取り間違い、紛失、破損等があっても、自己責任とします。トランジションエリアに置くことを推奨します。
2)視力が弱い方は、度付ゴーグルをご用意ください。
3)スイムフィニッシュ後、シャワー等はありません。

13、トランジション
・トランジションは競技者が次の種目に切り替えることとをいい、同エリアはその場所を指します。
<1> 準備、撤収
1)トランジションエリアには、競技中及び競技前後に関わらず、選手及び許可された大会スタッフ以外は入れません。ただし、やむを得ない理由がある場合に限り、TOの許可を得て入ることができます。
2)棒状のバイクラックに添付してあるナンバーシール側にハンドルバーがあるように向けてサドルをかけてください。・・・（写真①）
3)バイクラックにサドルを掛けられない場合は、自転車についているスタンドで、ラックの下に置くこともできます。または、バイクラックに持参したひも等を取り付けてかけることができます。（写真②③）
4) 荷物は、ハンドル幅１台分、約50cmに収まるように、前輪より前に出ないように置き、他選手の邪魔にならないよう最小限の広さに収めてください。
5)競技に必要な物以外を置くことはできません。ただし、ドリンク、ジェル、保冷グッズ（送風機などは不可）など競技で使うものに限り、クーラーボックスの中にいれて保管することができます。ボックスはできるだけやわらかい素材を推奨します。また軽量なものは風で飛ばないようにしひもなどが他選手に影響を及ぼさないようにしてください。置いていいかわからないものは、TOに確認してください。（写真④）
6) デュアスロンD，E＝小学生に限り、スタンドが自転車に固定してあるスタンドは使うことができます。ただし、自転車に付属していないスタンドの持ち込みはできません。（下図）
7)指定時間内にトランジションのセット場所で余裕をもって行ってください。
8)トランジションエリアを囲むフェンスにバイクを立てかけないでください。
9)セッティングが守られていないバイクは、選手の了承を得ずに大会スタッフが直します。



①


②


③


④

（左）自転車に付属していないスタンドは持ち込めません。
（右）自転車に固定されたスタンドは問題ありません。



<2>競技中

1)トランジションエリアは、ペダルに片足を乗せての走行も含め乗車禁止です。
2)ヘルメットのストラップは、ラックからバイクを外す前にしっかりと締めてください。バイクフィニッシュ後は、バイクを掛けてからストラップを外してください。
3)乗車は、選手の片足が乗車ラインを越えた後に、完全に片足が地面についてから乗車してください。また、乗車ラインを通過してからも押すことはでき、ライン通過直後に乗車しなくてもかまいません。混雑時等ご検討ください。
4)降車は、降車ライン手前の地面に、片足が完全についてから降車してください。また、降車ライン付近が混雑する場合は、安全な場所での降車もご検討ください。特に、本大会の降車付近は狭いため、周囲を確認の上、安全な場所で余裕をもって降車してください。
★降車の場所を、コースMAP、現地で必ずお確かめください。
5)レースナンバーの向きを確認して、次の種目に移ってください。
(バイクは腰側(後から見える位置)、ランは腹側(前から見える位置))


《乗車》


《降車》

※次ページで、トランジションのやり方が具体的示されています。

<3>撤収

1)トランジションエリアを囲むフェンス外から荷物を取り出すことはできません。
2)競技終了後のバイク等は、バイクピックアップの公式アナウンス後、指定出入口からのみ順次撤収できます。競技中にアナウンスがあった場合でも、競技の進行状況により、一時撤収できない場合もありますのでご了承ください。ピックアップの入口、出口はトランジションエリアマップをご確認ください。
3)トランジションエリアに入る場合は、必ずレースナンバーをスタッフに示してください。
4)キッズ（D,Eタイプ）は10時30分まで、その他は16時時までに撤収してください。
（Cタイプは、競技終了後30分以内を目安に撤収してください。）

5)トランジションに入ることができる人と時間

トランジション準備時間	選手との保護者 （保護者はキッズ(D,Eタイプ）部門に限ります。 また選手と一緒でなければ入れません）
競技中	選手のみ（自分が競技をしているとき以外は入ってはいけません）
自分の競技終了後	アナウンスがあるまで入ってはいけません。
バイク撤収アナウンス後	該当する選手のみ

4)バイク等の置き方

持ち込んでいいもの（◎必須、○必要に応じて）

◎	バイク
◎	バイクシューズ
◎	ランニングシューズ
◎	ヘルメット
◎	レースナンバー
◎	水分（バイク用ボトルバイクにつけておく）
○	サングラス
○	タオル

持ち込んではいけないもの

X	バイクに付属していないスタンド
X	その他競技に必要ないもの

置き方の例
・バイクの前輪の近くにまとめて置く
・バイクが終わったあとも、同様に置く。



<4> トランジションのやり方
1)スイム→バイク
（トランジション１＝Ｔ１＝ティーワン）

トランジションのやり方を動画でご覧いただけます。（大会ホームページを　ご覧ください　7分33秒）
URL
https://www.youtube.com/watch?v=8ZcTY2ctNso



①ヘルメットをかぶり、ストラップをとめる。



②それからバイクを取り出す。



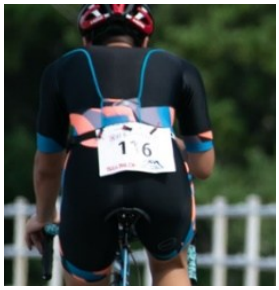
★必ずストラップをとめること



③トランジション内は押して移動。



④乗車ラインを越えてから乗る



レースナンバーは背中側
(1枚の場合)

2)バイク→ラン（トランジション２＝Ｔ２＝ティーツー）



①降車ラインの手前で降りる



②トランジション内は押して移動。



③最初にバイクをかける。



④ヘルメットをとる。



⑤ランニングシューズをはく。

（箱がない場合は、バイクの道具は自分の自転車の近くに置く）



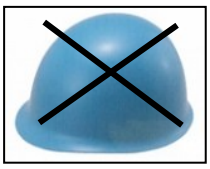
レースナンバーは胸側
(1枚の場合)

13、バイク

<1>用具

1）レース中はもちろん、移動中も、バイクに乗車する時は規定のヘルメットを着用し、ストラップをとめてください。





X：工事用
X：ストラップがゴム製

①ヘルメット

1）自転車競技用ヘルメット、または公的機関の安全が確認されたヘルメットを着用してください。

2）ヘルメットの被り方、今一度チェックしましょう！



X：前頭部がでている



○：前頭部が覆われている



X：ひもが緩い



○：目安で指２本位

②ウェア

1)上半身裸で競技すると失格となります。必ずシャツを着ましょう。トライスーツ、女子用の水着は可。
（トライスーツである必要はありません。Ｔシャツ、短パン等で競技することができます。）

2)前にファスナーがあるウェアの場合、ファスナーを上端まで上げましょう。

③バイク、装備品

1)A,B,R,Cタイプ・ロードバイクを推奨します。
・スタンド、前照灯、泥除け等競技に無関係なものは、取り外してください。

2)D,Eタイプ　・普段乗りなれたバイクを推奨します。
・スタンドなどは、特にとる必要はありませんが、簡単に外れないようにしてください。
・ＤＨバーの装着は禁止します。

（◎必須　○あるとよい　△どちらでも　X携行禁止）

項目	A,B,R,C部門	D,E部門	内　容
バイク本体	◎	○	ロードバイク
	○	X	ＴＴバイク
	△	○	マウンテンバイク
	△	○	クロスバイク
	X	X	ミニベロ
	X	△	シティサイクル (俗に言うママチャリ)
	X	X	電動アシスト付き
パーツ等	○	△	パンク修理セット
	◎	○	バイク用ボトル
	○	△	サイクルコンピューター
	○	X	ＤＨバー
	X	X	ペットボトル
	X	X	ヘッドホン、イヤホン等
	X	X	ガラス製品
	X	X	通信機器
	X	X	カメラ

D,E（キッズ）部門は普段乗りなれた自転車で。



中学生も禁止です

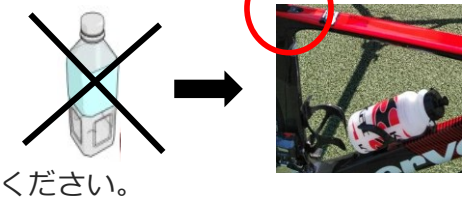
Cの中学生とD,E（キッズ）部門のDHバーは禁止です。



競技と関係ないものは持って行ってはいけません。



バイク専用のボトルとボトルケージ

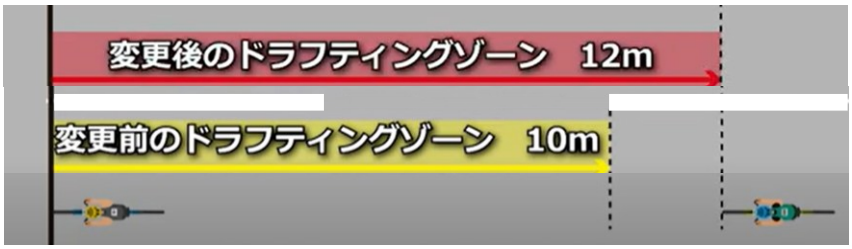


・判断がつかないもの、パラトライアスロンの方は大会事務局にお問合せください。

3)バイクコースには、エイドステーションはありません。距離に応じて、しっかりドリンクを入れ、補給できるようにしてください。
4)パンク修理セットを携行してください。また、パンク修理はひとりでできるように、練習しておくことが必須です。(人の手を借りての修理は失格です。ＴＯを除く。キッズは自分で修理できるならベターです。)
5)音楽プレーヤー等、ヘッドホンをつけての走行、及び機器の携行は禁止です。
6)通信機器がついているサイクルコンピューターは、第3者と通信をしないことを前提として装着を認めます。ただし、バイクに固定して外さないこと。

＜2＞競技
1）完全貸し切りのコースではありません。一般の方に充分ご注意ください。
2）逆走は禁止です。
3）コースの左側を走行してください（キープレフト）。追い越しは右側から。
ただし、コースに左側の白線（路側帯）の内側は、歩行者がいる場合があります。走行は避けてください。
4）ホイールステーション（車輪交換場所）は設けません。
5）ドラフティング走行・集団走行・併走は禁止です。

※2025年からのJTUの競技規則の改訂で、前の選手から10m→12m、ドラフトゾーンに入ることができる時間は、20秒→25秒となりました。





① ② ③ ④ ⑤ ⑥ 約6台分が目安

・前の選手の前輪先端から12m以上あけて走ってください。
・追い越しは25秒以内にしてください。
・ドラフトゾーンに入ることができるのは、トランジションエリア前後100m、急なターン地点等です。
・ブロッキング(後続を追い抜けなくする状態)行為は禁止です。
・オートバイは15m、車両は35mがドラフトゾーンです。
・追い越された選手は、25秒以内にドラフトゾーンから後退してください。

★バイクコース情報（要注意）
・基本的にフラットですが、橋を渡る際に多少の起伏があります。
・９０度の左コーナーが２か所あります。
・一般の自転車が走行している場合があります。
・歩行者が歩いている場合があります。





・道路両脇に、このような縁石があります。過去にはこれに乗り上げ落車が発生したことがあります。しっかり前をみて走行してください。



・歩行者がいる場合があります。走行は白線の内側で！

14、第1ラン・第2ラン
1）コースの左側を走行してください（キープレフト）。追い越しは右側から。
2）伴走はできません。
4）音楽プレーヤーなど、ヘッドホンをつけての 走行は禁止します。
5）左側通行です。追越しは前走者の右側から。
6）応援者による伴走はできません。
7）周回数、進行方向は必ず各自で判断してください。(スタッフは誘導しません。)



15、周回数チェック
1）周回数カウントは、各自で行なって下さい。バイクには、サイクルメーターの装着を奨励します。
正しく作動するかどうか確認をしてください。
2）周回チェックは機器を使い確認しています。周回不足と判断される場合は非完走（ＤＮＦ）となります。

16、エイドステーション(給水所)

1)スイムスタート前、周回、フィニッシュ、ランコース途中、フィニッシュ付近に設置します。
2)ラン（第2ラン）では、スペシャルエイドテーブルを用意します。
補給食などが必要な場合は、各自で用意し、置いてください。**Aタイプ（ミドル）は用意していただくことを強く推奨します。（大会側での用意はありません）（P8コースMAP参照）**
3)バイクコースにはありません。
4)テーブルにおいた紙コップを、選手自身でお取りください。
5)使用済み紙コップ等のごみを、規程範囲(リタリングゾーン)外に捨てた選手はペナルティ対象です。
リタリングゾーン内に回収箱を用意します。入れ損ねた場合は、ペナルティの対象にはなりません。


減速しましょう


テーブルに水の入った紙コップを準備します。
ご自身でお取りください。


飲み終わった紙コップは
ゴミ箱に捨てましょう

17、フィニッシュ

1)フィニッシュの判定は、計測したタイムで決定します。
2）同伴フィニッシュは、家族等もできますが、３人以内（乳幼児除く）でのみで、指定場所からできます。
ただし、他の選手に迷惑がかかると判断される場合は、制限する場合があります。
3)フィニッシュ後は、立ち止まらないで、そのまま進んでください。
4)水（ペットボトル）を自分でとり、水分補給をしてください。ペットボトルはお持ち帰りください。
5)アンクルバンドは自分で外し、指定の箱にいれてください。
6)選手支給物は自分でとってください。

18、ペナルティ

1)違反や危険が予想される行為があった場合は、注意を受けることがあります。
2)注意に従わない場合、警告が出ます。また、停止等のペナルティを果たします。
但し、ペナルティが果たされる前に必ずしも注意や警告が発せられるとは限りません。
3)スイムからバイク・ランにおいて、違反があったにも関わらず、違反場所での停止等のペテルティが果たされなかった場合、あらかじめコース上に設置されたペナルティボックス(PB)に、その選手のレースナンバーを掲示します。対象者は自らボックスに入り、TOの指示に従ってください。
(PB:コースマップ参照:周回・フィニッシュ分岐付近)
4)主な違反によるペナルティー時間**（全部門共通）**
・ドラフティング違反　1分
・その他違反　15秒
5)失格に該当する主なもの
・登録本人以外(替え玉)の出場。失格だけでなく、出場停止等の重い処分が下されます。
・ヘルメット未着用あるいは不適合なヘルメットを着用してバイクに乗車した場合
・パンク修理において、人の助力を得ること。(TOの助力は除く)
・TO、スタッフ、観衆への暴言
・ペナルティボックスにレースナンバーが掲示されているにも関わらず、ボックスに入らなかった場合
・意図的に不正な手段によって、他の競技者よりも明らかなアドバンテージを得た場合

19、緊急時の対応

1) 安全を守るため緊急車両が入る場合があります。
2) 緊急車両が入る場合は、競技中でも一時競技を止め、緊急車両を優先して通行させます。
3) 選手が止まっている時間も競技時間に含まれます。事態をご理解のうえ、ご了承ください。
4) 大会開催中、変調をきたした選手を見かけた場合は、すぐにお近くのスタッフにお知らせください。

リレー

1)アンクルバンドを引き継ぐことで、リレーが成立します。必ず各選手が足首につけて競技をしてください。
2)アンクルバンドの引き継ぎは、リレー待機場所で行ってください。
3)競技を終了した選手は、他の選手に注意してコースより退出し、預けた荷物を受け取る等してください。
4)フィニッシュは、3人で行うことができます。詳しくは[P21競技規則・フィニッシュ]をご確認ください。
5)競技中の選手以外はトランジションエリアに入れません。バイク、ラン担当選手の競技用具はトランジションエリア外に持ち出して準備してください。競技前後に着用の荷物等は、荷物預けに預けてください。
6)スイム
①アンクルバンド、スイムキャップは、スイム担当選手が受け取ってください。
②スイムエリアにはスイム担当選手のみ入ることができます。
7)バイク
①バイク担当選手は、スイムフィニッシュ想定タイムまでに、バイクの服装で、レースナンバーをつけてリレー待機場所に集合してください。
②バイクシューズは、バイクにつけておいても、履いて待ってもかまいません。
③ヘルメットは事前に着用しておくことを推奨します。
8)ラン
①ラン担当選手は、バイクフィニッシュ想定タイムまでに、ランの服装で、レースナンバーをつけてリレー待機場所集合してください。
9)スイムでスキップ、またはリタイヤ、タイムオーバーがあった場合
①スイム担当者は、TOにアンクルバンドを渡してください。その後については、[P22競技規則・リタイヤ、もしくはタイムオーバーした場合]を参照してください。
②バイク担当者は、スキップ待機場所でそのアンクルバンドを受け取り、指定時刻にスタートしてください。(アンクルバンドは、予備のものを付ける場合もあります)
10)バイクでリタイヤ、タイムオーバーがあった場合
①バイク担当者は、TOにアンクルバンドを渡してください。その後については、[P22競技規則・リタイヤ、もしくはタイムオーバーした場合]を参照してください。
②ラン担当者は、アナウンス等でバイクのリタイヤ情報を得たら、スキップ待機場所の審判にリタイヤチームラン担当であることを伝えてください。予備のアンクルバンドを受け取り、TOの指示でスタートしてください。
11)ランでリタイヤ、タイムオーバーがあった場合は、競技は終了となります。
12)リレーでメンバー不足となった場合
①２人または1人で競技することができ、３種目完泳・完走すればリレー部門で順位付けされます。出場選手が、途中でリタイヤした場合も同様の運用を行います。
②2人の場合、 1人が２種目を続ける、もしくは、1種目ずつ交代し競技してもかまいません。
※TOへの事前の報告が必要
③フィニッシュ後の支給物は、3人分お受け取りください。

リタイヤ、もしくはタイムオーバーした場合

1、棄権(リタイア)
1)安全が最優先です。レース前やレース中に体調が優れない場合は「勇気あるリタイア」が正しい選択です。
2)リタイアする場合は、必ず近くのスタッフに「リタイア」する旨と「レースナンバー」を報告し、アンクルバンドを本部までお持ちください。または審判に渡してください。
2、リタイヤ時の対応
1)スイムでリタイヤまたはタイムオーバー
①一度救護で体調確認をしてください。
②アンクルバンドをスタッフに渡して、体調に問題なければ撤収の準備を行ってください。ただし、バイクのピックアップは、TOの指示に従い可能になるまでお待ちください。
2)バイクでリタイヤ
①TOにリタイヤを申告し、指示に従ってください。TOはオートバイ等で巡回しています。
②アンクルバンドをTOに渡してください。
③救急搬送された場合を除き、必ずトランジションに戻り、審判にリタイヤした旨を伝えてください。
途中でリタイヤしたまま帰宅等は絶対に避けてください。行方不明選手として捜索が必要になります。
※メカトラブルは、ご自身で対応することが基本です。パンク等の修理ができるようにしてください。

3)バイクでタイムオーバー
①タイムオーバーを指示された場合、自走でトランジションに戻るか、回収車で回収するかの指示に従ってください。自走で戻る場合も、コースの外側を走行し、安全に戻ってください。
②アンクルバンドを審判に渡してください。
③必ずトランジションに戻り、TOにタイムオーバーした旨を伝えてください。リタイヤと同様、そのまま帰宅等しないでください。

4)ランでリタイヤ
①TOにリタイヤを申告し、指示に従ってください。TOはコース内、定点にいます。
②アンクルバンドをTOに渡してください。
③トランジションに戻り、TOの指示に従い、可能になったらバイクピックアップの準備をしてください。

5)ラン関門でタイムオーバー
①タイムオーバーで新しい周回に入れなくなった場合、TOの指示にしたがってください。
②トランジションに戻り、TOの指示に従い、可能になったらバイクピックアップの準備をしてください。

WEB競技説明会、ルール等理解テスト

・右のURL、QRコードからWEB競技説明会を必ず視聴してください。
（10/12公開予定）
・その上で、ホームページ、メール配信でお送りするルール理解度テストに必ず回答してください。回答がない場合、大会当日の受付ができない場合があります。（10/18(日)まで）
※リレーは代表者が回答し、メンバーに伝えてください。
※複数名をエントリーしている代表者は、レースナンバーの各選手の番号をいれてください。

WEB競技説明動画

その他

1、表彰式・結果発表
1)A,B,R,C部門とD,E（キッズ）部門にわけて表彰式を行います。表彰対象者は表彰エリア付近に表彰予定時刻までにご集合ください。
2)速報は、システムウェイ(右URLまたはQRコード)でご確認ください。
※速報は、公式記録ではありません。）
3)リザルト（公式記録）は、大会翌々日にホームページでご確認ください。
（翌日が祝日のため）
4)完走証ご希望の方は、メールで希望の旨をお伝えください。
後日メールでお送りします。
(当日配布、ホームページからのダウンロードサービスはありません。）

https://systemway.jp/26koyo_challenge

その他

3、荷物預かり

1)荷物預かりはありません。トランジション内の荷物置き場に置くことができます。
トランジション入口で、ご希望の方にビニール袋とステッカーをお渡しします。レースナンバーを記入して貼付してください。
・取り違いにご注意ください。
・出口でレースナンバーとの照合を行いますが、紛失、破損などについて責任を負いかねますのでご了承ください。

2)貴重品は各自で管理するか、本部にお預けください。（フィニッシュ近くの本部テント）
・お預け、お受け取りの際は、レースナンバーがわかるものをご持参ください。

4、参加賞、オプション品

1)参加賞
・バッグを受付時にお渡しします。
・当日受け取り忘れの方の内、希望者には、着払いでお送りします。
・不参加（DNS）の方は、後日元払いでお送りします。

2)ナンバーベルト（オプション：事前注文）
・大会当日、受付でお渡しします。
・当日引き取り忘れの方の内、希望者には着払いでお送りします。
・不参加（DNS)の方は、後日元払いでお送りします。
・大会が中止になったり、欠場されても、返金することはできません。

5、メカニックサービス

1)事前に十分に整備されたバイクでご出場ください。
事故防止のため、また現地でのメカニックサービス利用の混雑を回避するため、事前点検をお願いします。下記の事前点検実施により、レース中のメカニックトラブル回避につながり、安心してレースに参加できます。 是非ご自身でのバイク点検をお願いします。

2)メカニックサービスの利用は有料です。（￥2,000＋実費）
昨今の大会で、自分での点検無しに、安易にメカニックサービスを利用し、本当にメカニックサービスの利用が必要な選手にサービスが提供できない事態が発生しています。必要な方はご利用いただきたいのですが、まずは事前にご自身またはバイクショップでの点検、整備をお願いいたします。

◆バイクチェック表(ご自身でしっかり確認しましょう)

パーツ	詳細	チェック	パーツ	詳細	チェック
ブレーキ	ブレーキシュー摩耗		その他	ＤＨバー固定	
	取り付け位置			ボトルケージ最低１個	
	ブレーキワイヤー			Di2バッテリー残量	
	効き具合			フレーム破損・クラック	
タイヤ	タイヤの摩耗			ハンドル固定	
	タイヤの損傷			ステム固定	
	タイヤの空気圧			ヘッドのガタ	
ホイール	ホイールの振れ・ガタ			サドル固定	
	スポークテンション			ペダルのガタ	
	クイックレバーの固定			クリートの摩耗	
変速ギア	フロント変速			各ボルトの増し締め	
	リア変速			注油(チェーン、メカ等)	
	変速ワイヤー				
	(Di2含む)				

6、その他
1）寒さ、雨を考慮して対策をしてください。
2）大会開催中、変調をきたした選手を見かけた場合は、すぐにお近くのスタッフに声をかけてください。
3）体調不良、睡眠不足などは、大きな事故につながります。前日の飲酒もお避けください。
絶対に無理な出場はしないようにしてください。
4）スケジュール、ローカルルール変更、追加などがあった場合は、本部に掲示の上アナウンスします。
5）ゴミは各自お持ち帰りください。
6）会場に事前に荷物を送ることはできません。
7）更衣室は仮設テントを用意します。
8）計測用アンクルバンドは回収所または本部まで必ずご返却ください。紛失した場合、実費をお支払いいただきます。
9）テレビ、新聞等の取材が入り、場所を確保する場合があります。ご協力をお願いします。

盗撮防止について

トライアスロンジャパンでは、大会会場での盗撮防止に努めています。
近年、大会会場における盗撮行為がいくつか報告されています。特に女子選手はフニッシュ後にタオルを巻く等の自己防御対応をお願いいたします。尚、盗撮行為と疑わしき場合を発見した際は、お近くの大会関係者までお知らせください。

大会保険について

主催者で保険に加入しています。競技中の負傷等に対する主催者の補償は、大会において加入する保険の適用範囲内です。また機材・備品の補償は一切ありません。次の補償内容を必ず確認のうえ、不足と思われる方は、各自において別途保険に加入してください。(感染症には対応していません)

給付内容/原因	傷害
死亡保障	1,000万円
後遺障害補償	1,000万円
入院見舞金	5,000円×日数
通院見舞金	2,500円×日数

都道府県・学連競技団体登録会員→2026年度都道府県・学連競技団体登録会員は、別途トライアスロン保険に加入しています。
https://www.jtu.or.jp/join/insurance/safetysports/

・熱中症含みます。
・低体温症は対象外です。
・怪我をした場合は、一度大会事務局にご相談ください。

●大会事務局
TEL:　042-468-3513
E-mail:　info@teamkens.co.jp

落とし物、忘れ物

1)落とし物を拾った場合は、大会本部にお届けください。
2)落とし物、忘れ物をした場合は、大会事務局にお問い合わせください。
お問い合わせの際、アイテム、色、サイズ、特徴等、具体的にお知らせください。
3)ボトルに入った水分等は、廃棄させていただきます。
4)大会終了後、大会事務局で保管しますが、１か月を経過した時点で処分させていただきます。

ドーピングコントロール

今大会では、日本アンチ・ドーピング規程(日本アンチ・ドーピング機構＜以下JADAと示す＞ホームページ https://www.playtruejapan.org/より入手可能)に基づき、競技会内でドーピング検査が行われる可能性があります。来場の際は、必ず写真付き身分証明書(パスポート、学生証、運転免許証等)をご持参ください。

ドーピング検査の対象となった競技者は、競技終了後、通告を受けます。通告者(ドーピング検査員、シャペロン)の指示に従ってください。尿もしくは血液または両方の検体提供の拒否または回避をすることは違反行為とみなされることがあります。検査の過程はJADAホームページの「トップページ → アスリート＆競技団体の方へ → 競技会に参加するすべての　アスリート → ルールについて知る → ドーピング検査手順(尿、血液)」をご参照ください。

エイジアスリートの方も対象になる可能性がありますので、普段からアンチドーピングに関してもご配慮ください。

競技中に接触事故が発生した場合

競技中に万が一一般の方との接触事故等があった場合、近くのスタッフにお声がけの上、怪我の有無に関わらず必ずその場に留まり大会側の指示に従ってください。

緊急時、災害等の対応

1）緊急時、救急車が入る場合は、競技中でも一時競技を止め、救急車を優先して通行させる場合があります。選手が止まっている時間も競技時間に含まれます。事態をご理解のうえ、ご了承ください。
2）大会開催中、変調をきたした選手を見かけた場合は、すぐにお近くのスタッフにお知らせください。
3）大地震が発生した場合は、競技を中断、中止する場合があります。

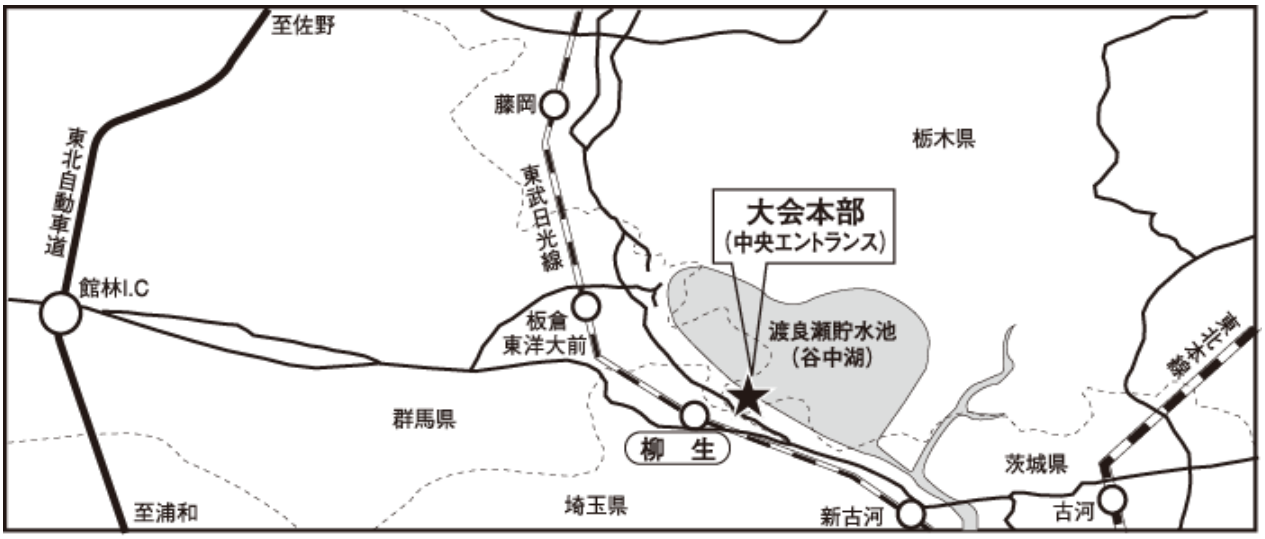
下宮橋付近の通行方法

トランジションなどがあるメイン会場への下宮橋付近は、混雑します。選手以外の方は、一般用ルートを通っていただきますよう、お願い致します。





アクセス



●交通アクセス　・車の場合　東北自動車道館林インターチェンジより約20分
・電車の場合　東武日光線「柳生駅」下車徒歩約20分

■交通アクセスのご案内
●車をご利用の場合
国道３５４号線三国橋より
北西約３km
東北自動車道：館林I.C.より
東へ約20分
●電車をご利用の場合
東武日光線ご利用の場合
柳生駅より
徒歩約20分（1.3km）

★注意
・渡良瀬遊水地（谷中湖）の中央エントランスです。
北エントランスではありませんのでご注意ください。
・会場近くの道の駅などの施設に、駐車しないでください。

★お願い
・なるべく、乗り合いでお越し
いただき、減車にご協力ください。

大会会場
https://maps.app.goo.gl/TmJW4nffscYzUhdP6

2、駐車場
1）下図の駐車場をご利用ください。
2）駐車場入り口は、幅2.2mの入場
制限柵があります。この幅を超える
車両でご来場の方は事前にご申告ください。

道の駅「かぞわたらせ」には
絶対に駐車しないでください。

